

(公社)日本WHO協会 × 日本国際保健医療学会学生部会

在留外国人の 母子保健医療

9/30
(金)
18:00~

誰もが安心して妊娠・出産・子育てができる地域づくりのために

法律の改正などに伴い在留外国人の数は増加傾向にあり、日本で妊娠や出産、子育てをする在留外国人はさらに増えることが予測されます。日本は周産期死亡率が低い国ではありますが、在留外国人の妊娠出産、子育てにおいては、妊婦健診等の未受診、駆け込み出産等の課題も依然として残されています。これらの課題を解決するためにも、医療現場だけではなく、地域での多方面からの継続的かつ総合的な支援が必要です。今回の勉強会では、医療現場、実際に日本で生活されている方、在留外国人の医療を地域で支える団体の3つの立場からみた日本の在留外国人の母子保健医療の課題についてご講演いただき、今後の展望、私たちに今求められていることを考察します。

福田 久美子先生



公益財団法人かながわ国際交流財団
多文化共生グループ

英国ロンドン大学教育学専門大学院にて教育・ヘルスプロモーション・国際開発を専攻。外国人・支援者双方の視点を踏まえて、神奈川県内の現場と連携し外国人住民の母子保健・子育て支援に従事。

マルデス・エレーラ先生



大手前大学国際看護学部

ペルー国立サン・マルコス大学助産学部卒業、ペルー助産師免許取得。広島大学で留学を経て保健学専攻博士取得。2010年より看護教育に携わりながら、母子保健、医療通訳、在留外国人支援活動に参加。

山本裕子先生



(特活) シェア=国際保健協力市民の会
在日外国人支援事業担当

保健師、看護師。兵庫県立大学大学院博士前期課程(修士)看護学研究科国際地域看護学専攻修了。国内外での地域、母子保健活動を経て、現在は、事業部総括、外国人母子保健支援などを担当。

スケジュール

- 18:00 - 18:10 挨拶 (企画班代表、中村安秀先生)
- 18:10 - 18:35 ご講演①福田先生
- 18:35 - 19:00 ご講演②エレーラ先生
- 19:00 - 19:25 ご講演③山本先生
- 19:25 - 19:45 質疑応答
- 19:45 - 19:50 クロージング

※時間は計110分を予定しております
若干の変更の可能性がございます

お申込みフォームはこちら
※切: 9月28日 (水) 23:59

